



るよ風 超大型シーリングファン インストールガイド

総販売元: 株式会社アシスト
E-mail: roky814@alto.ocn.ne.jp

総輸入元:  GW大阪株式会社
URL: www.gwosaka.com
E-mail: gw001201@yahoo.co.jp

目次

はじめに	3
施工の要件	4
設置場所と距離	5
主要部品	8
梱包・同梱商品	9
工具	10
設置手順	11
ベースの取付け	11
延長ポールとモーターの取付け	12
ワイヤーロープの取付けと調整	13
電気配線	15
ファンブレードの取付け	16
動作の確認	17
パラメーター	18
パラメーターの設定	19
お手入れとメンテナンス	20

はじめに

お客様へ

「そよ風」超大型シーリングファンをお買い上げいただき誠にありがとうございます。「そよ風」超大型シーリングファンを設置あるいは操作する前に、本説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。シーリングファンの設置、操作およびメンテナンスを行う場合は手順に従ってください。安全上の注意点を怠ると、人が死亡または傷害を負う、財産の損害が発生するなどのおそれがあります。

設置、テスト運転、メンテナンスには電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。本説明書は大切に保管してください。

工事店様へ

施工前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
本説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意！

警告：ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

- お手入れやメンテナンスを行う場合、必ず電源をオフにし且つ電源切断装置をロックしてください。誤って電源が入らないようにしてください。
- 「そよ風」超大型シーリングファンは、必ず「そよ風」超大型シーリングファン専用のコントローラーをご使用ください。
- コントローラーには高圧のコンデンサーが使われており、電源が切断されてから放電が完了するまでに時間がかかります。コントローラーを修理するには、主電源とコントローラーの回路が切断されていることを確認のうえ、コンデンサーの放電が完了するまで5分ほどお待ちください。電気的な故障やその他の不具合、ご不明な点については、決してご自身で解決なさろうとせず、販売店・工事店までご連絡ください。
- お手入れやメンテナンス中は電源をオフの状態にしてください。ファンブレードを曲げないようしてください。
- 設置及び電気配線工事は、資格のある専門業者が行ってください。
- 電源コードまたはプラグが損傷した状態での操作はおやめください。
- すべての電気的制御は工場出荷時に完了しています。配線図と設置手順に従い、調整せずにご使用いただけます。
- 異常な振動や騒音が察知された場合は直ちにご使用を停止し、販売店・工事店にご連絡ください。
- 設置手順に従ってシーリングファンが正常に動作しない場合、すべての電源を切ったことを確認のうえ、販売店・工事店にご連絡ください。
- 「そよ風」超大型シーリングファンには、人、設備、財産を包括的に保護するための安全機能を備えています。安全装置が正確に取付けられていない状態での運転はおやめください。

施工の要件

施工前の安全確認:

- 間取図などのデータと実際の現場を比較し、設置場所及び建物構造が要件を満たしているかご確認ください。
- 施工時、現場における安全対策、環境保全について必ずご確認のうえ、正しく施工を行ってください。
 - － 設置場所の 15 メートル四方内への関係者以外の立入禁止
 - － ヘルメット、安全ベルト、安全柵、安全標識等の徹底
- 「そよ風」超大型シーリングファンは、三相 200V または単相 100V 電源が使用できます。シーリングファンが安定して動作するには、ファンとコントローラーとの距離は 30 メートルを超えないようにしてください。
- シーリングファンの設置に昇降車が必要な場合、高さや昇降車の使用等、十分な安全を確保してください。

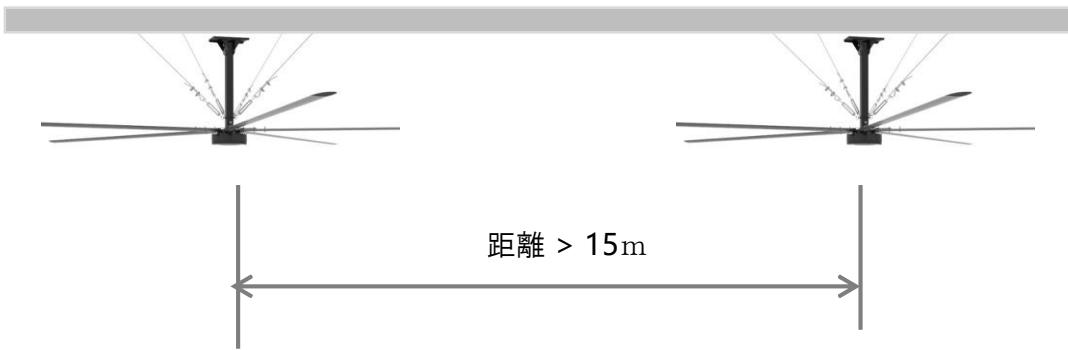
同梱部品:

- 開梱後、まず同梱部品の数量と破損がないことをご確認ください。
- 設置に必要な工具がそろっていることをご確認ください。

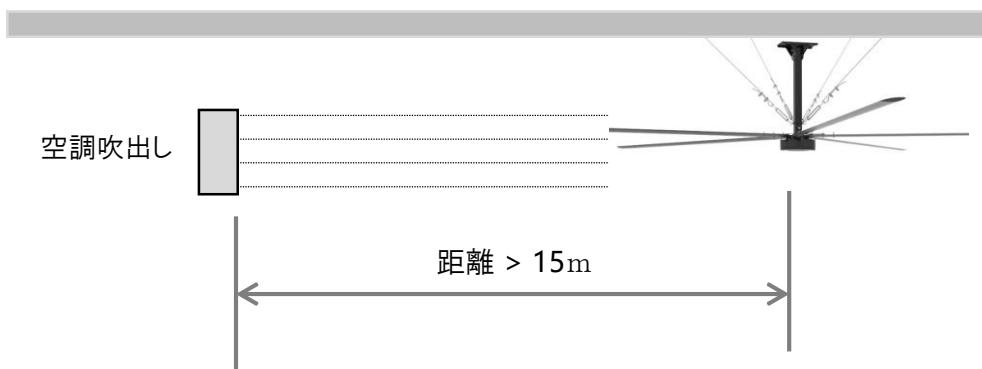
設置場所と安全な距離

- 灯りや天窓の真下での設置を避け、床面に影ができないようにしてください。
- 直径 7.3m のシーリングファンは6~9m高での設置が最適です。もし建物や内部スペースが限られている場合(走行クレーン、換気管、消火管、その他支持構造物により)、3m~15m の高さで設置することができます。
- 吹出し口(空調、エアダクト)のところにはシーリングファンを設置しないでください。
- シーリングファンを排気ファンやその他の還気ポイント等、負圧がかかるところに設置しないでください。もし設置する場合はファンの直径の 1.5 倍の距離をとる必要があります。

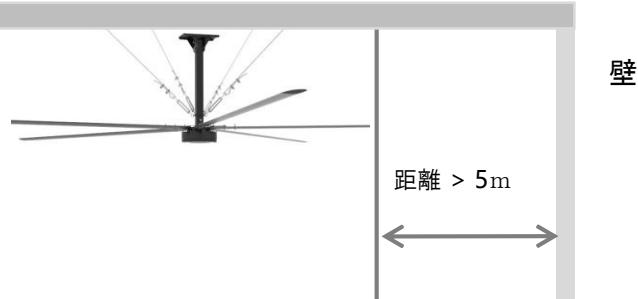
隣接するシーリングファンとの距離



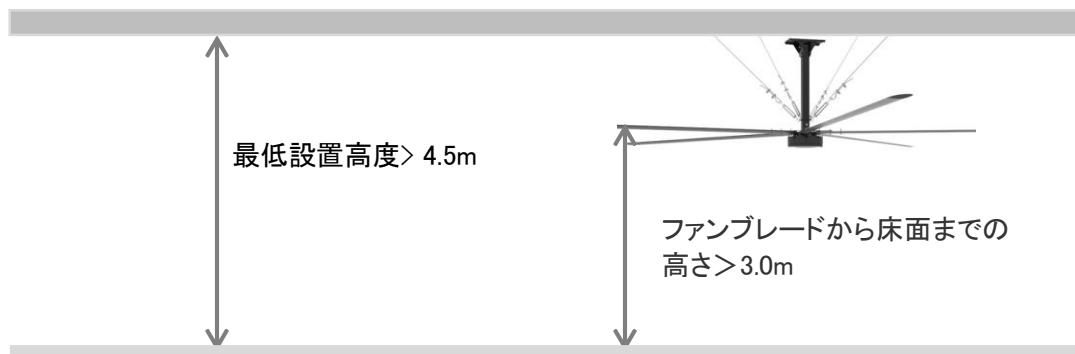
シーリングファンと空調吹出し口の距離



シーリングファンと壁の距離

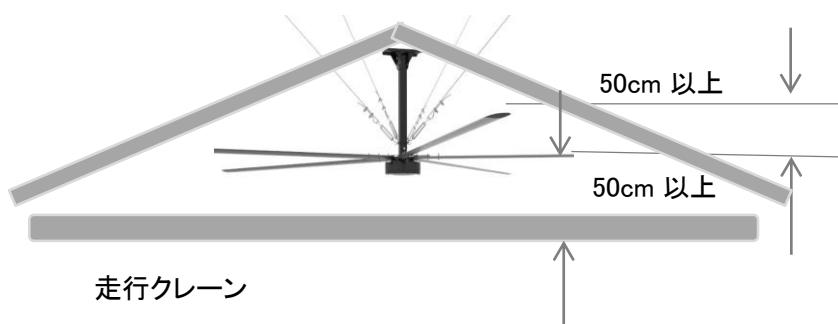


シーリングファンの設置高度

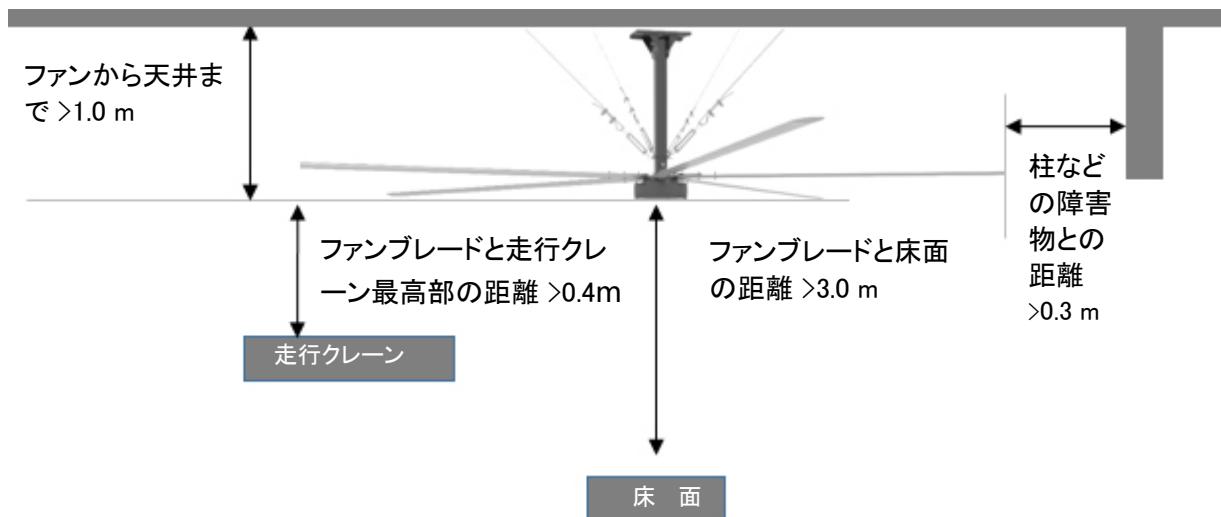


ファンブレードから天井梁までの最小距離

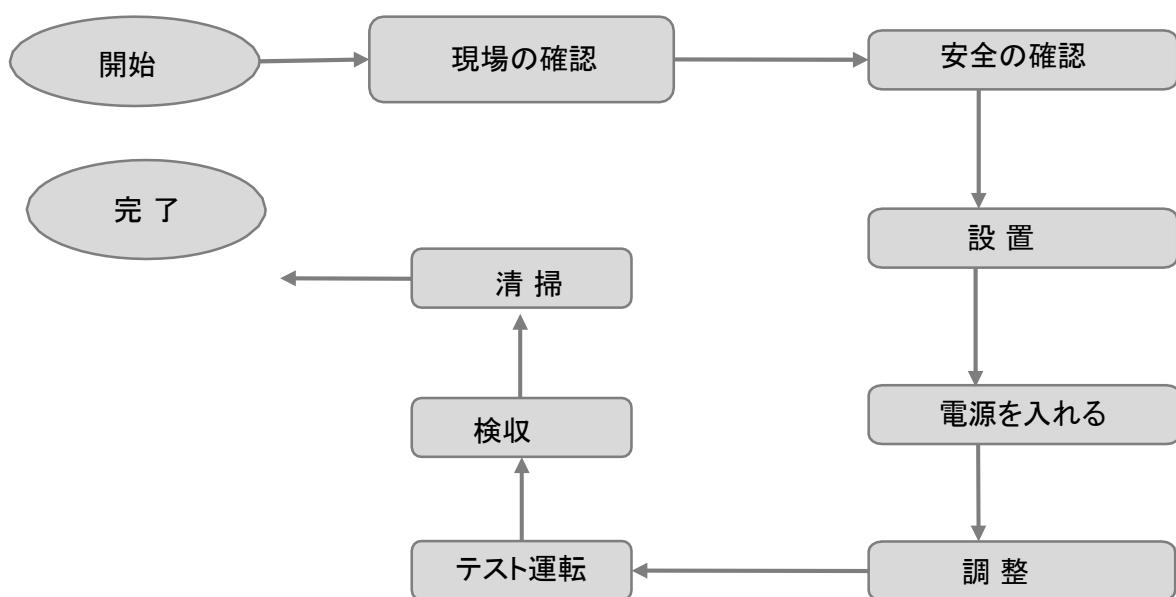
ファンブレードから走行クレーンまでの最小距離



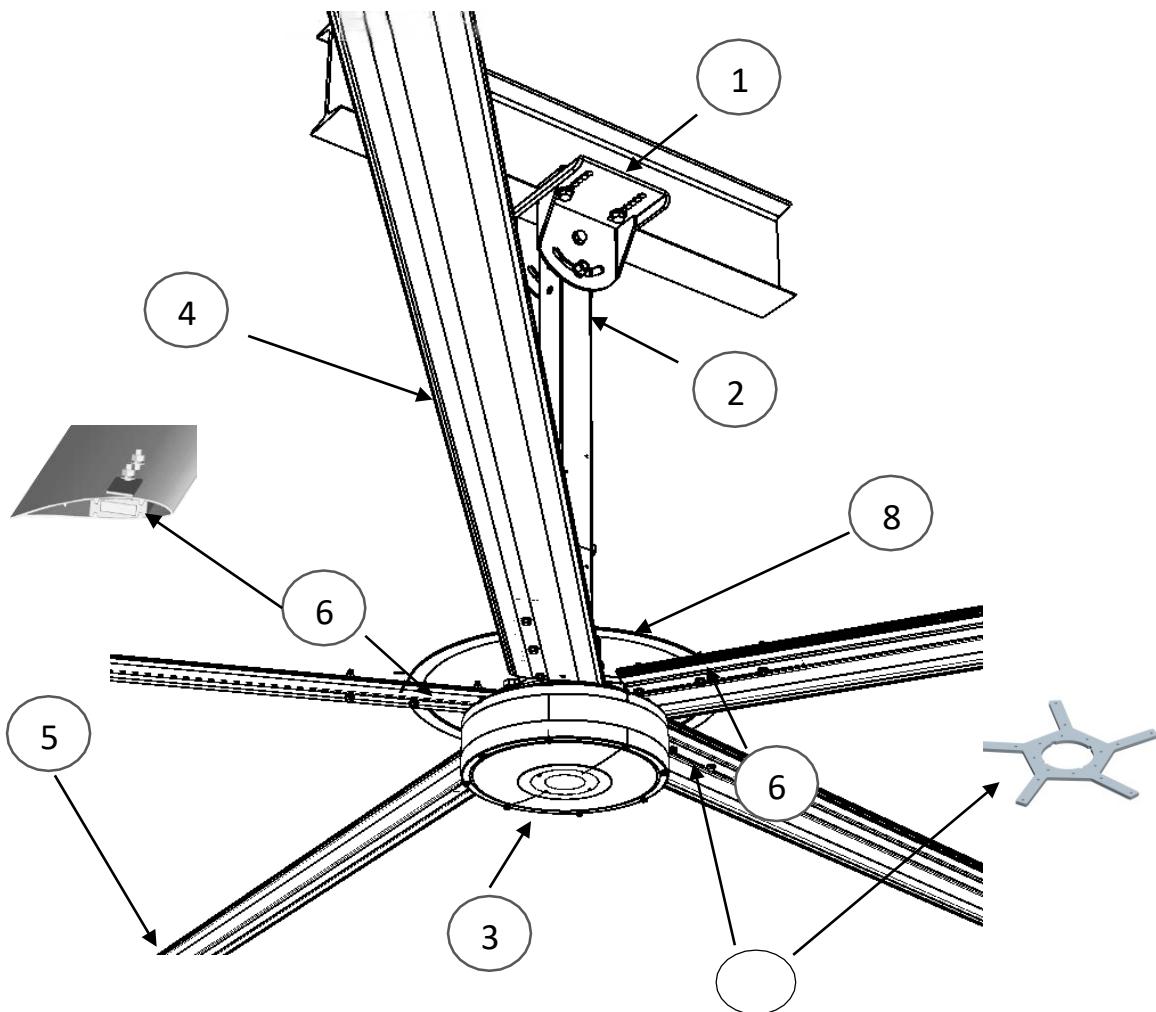
安全な距離



施工の流れ

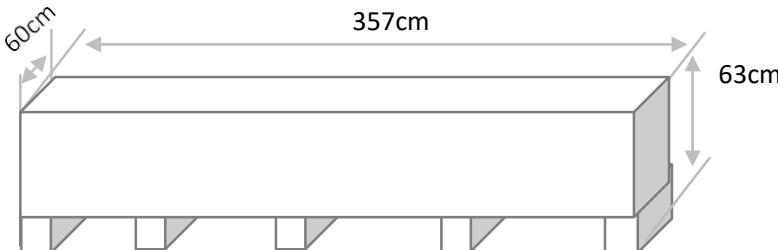


主要部品



1	取付けベース	5	尾翼
2	延長ポール	6	ファンブレードパッド
3	永久磁石直接駆動式モーター	7	ハブ
4	ファンブレード	8	安全チェーン

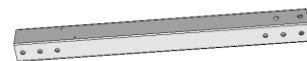
梱包と同梱部品：



取付けベース
(工字鋼)



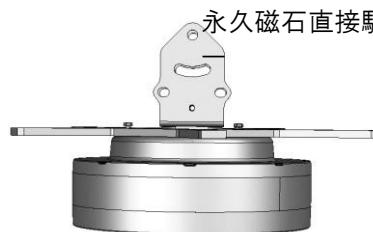
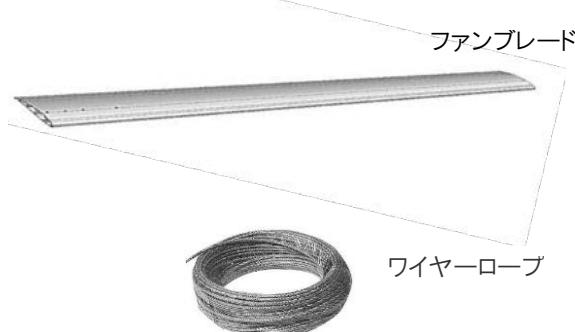
タッチパネルコントローラー



延長ポール



ケーブル 4x1.5



ターンバックル



ワイヤーチューブ



ブレードパッド



ロープ止め具

工具：



レンチ：13,18,22,24



ローププライヤー



ソケット 10,12,14



Y型ソケット 10,12,14



モンキーレンチ



アレンレンチ



水平尺



メーター



距離計

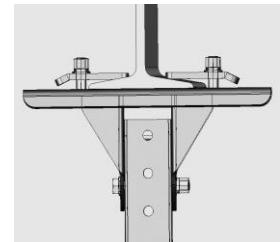
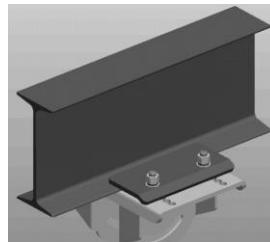


ねじ用接着剤 243,263,272 など

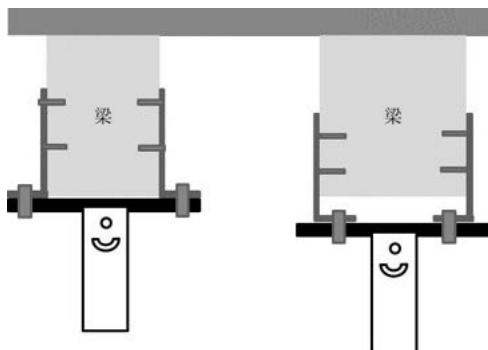
設置手順

1. ベースを取付ける
2. 延長ポールとモーターを取付ける
3. ワイヤーロープを取付け水平に調整する
4. 電気配線
5. ファンブレードを取付ける
6. 動作を確認する

- 工字鋼取付け



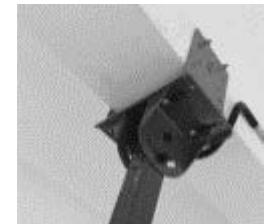
コンクリート梁の取付け



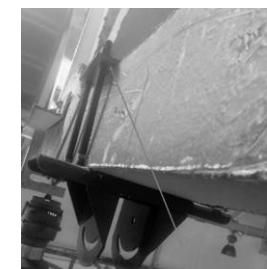
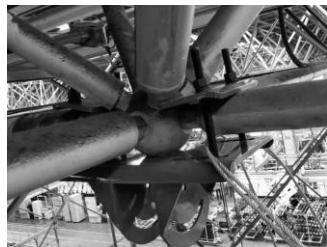
内付け法: 梁幅
- 380mm

外付け法: 梁幅
< 260mm

サイド取付け

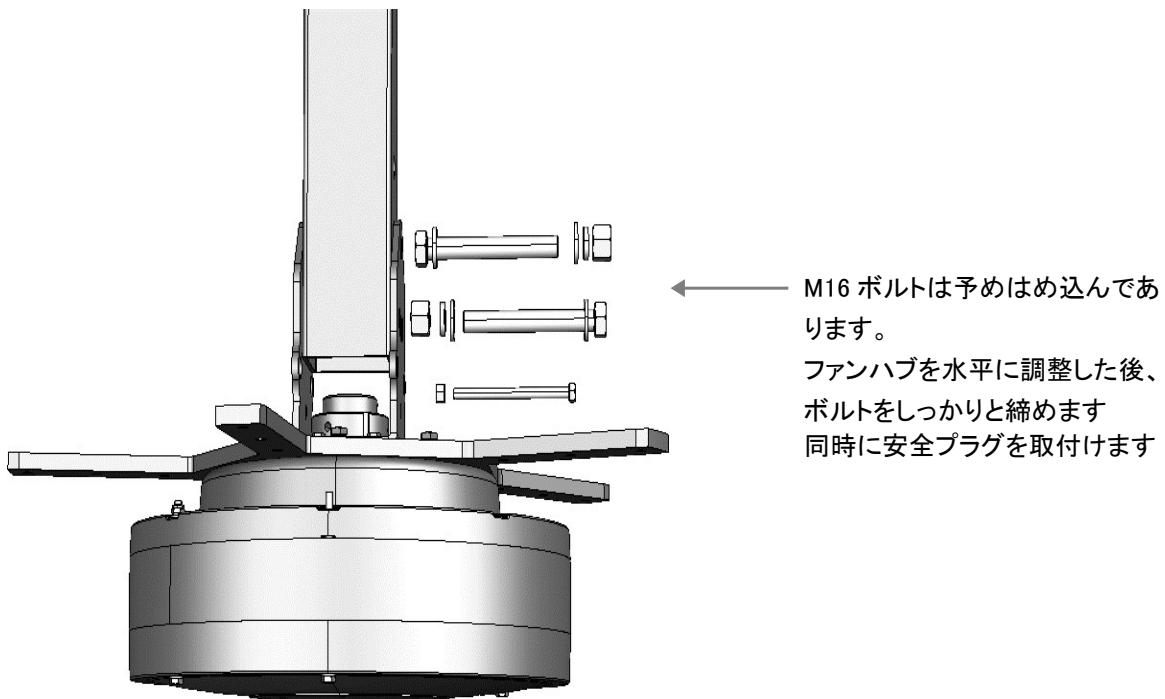
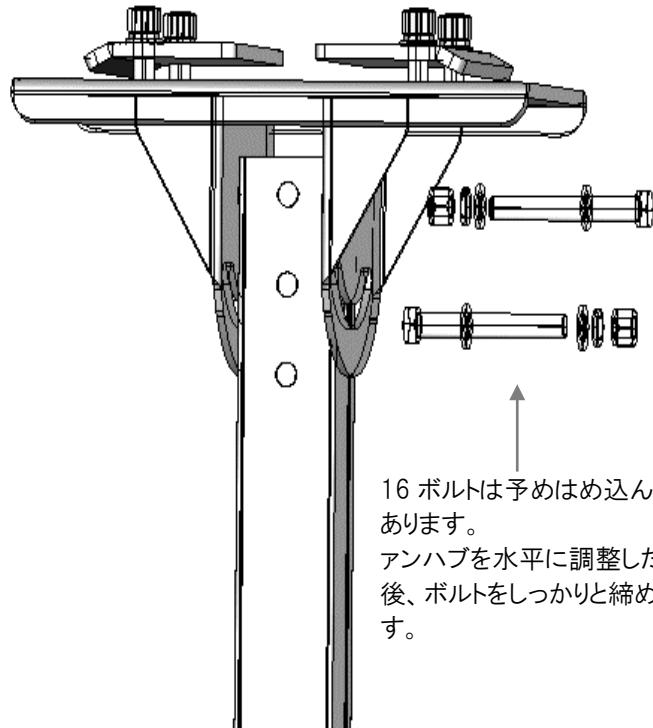


ネットスチール構造 の取付け



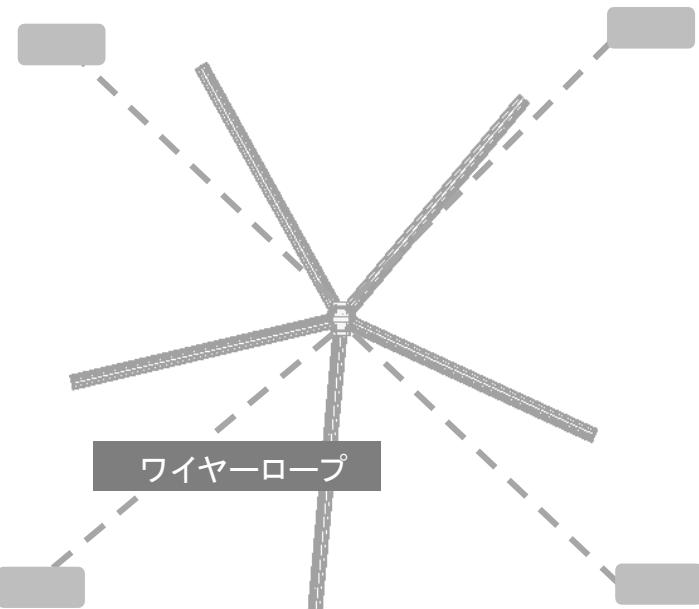
設置手順

1. ベースを取付ける
2. 延長ポールとモーターを取付ける
3. ワイヤーロープを取付け水平に調整する
4. 電気配線
5. ファンブレードを取付ける
6. 動作を確認する

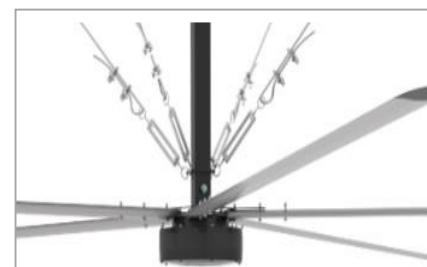
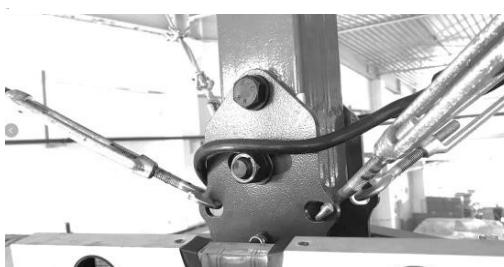
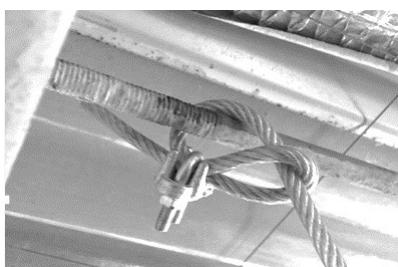
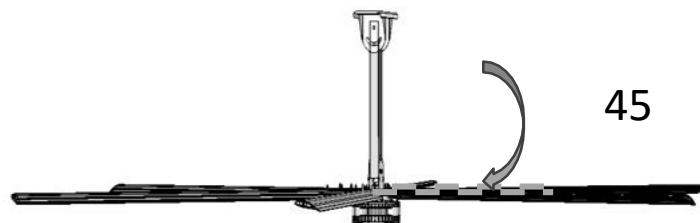


設置手順

1. ベースを取付ける
2. 延長ポールとモーターを取付ける
3. ワイヤーロープを取付け水平に調整する
4. 電気配線
5. ファンブレードを取付ける
6. 動作を確認する

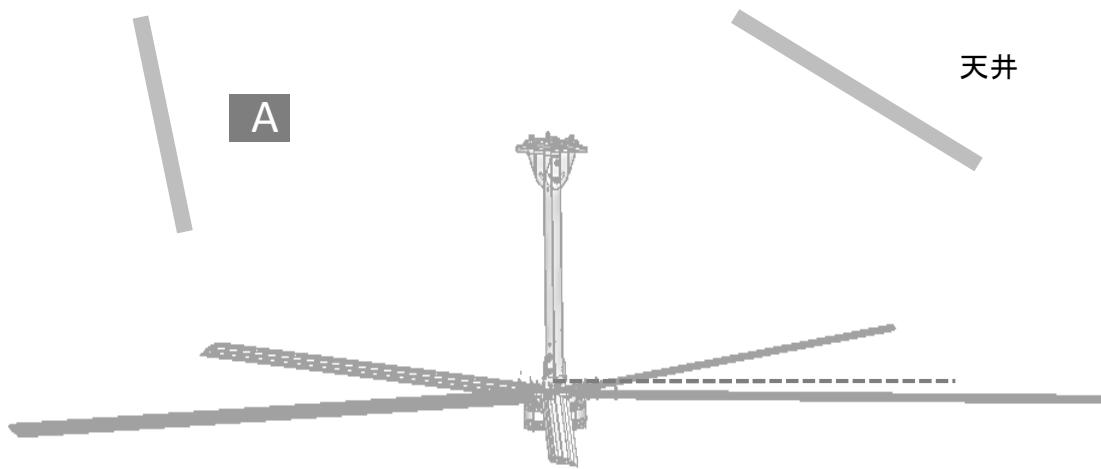
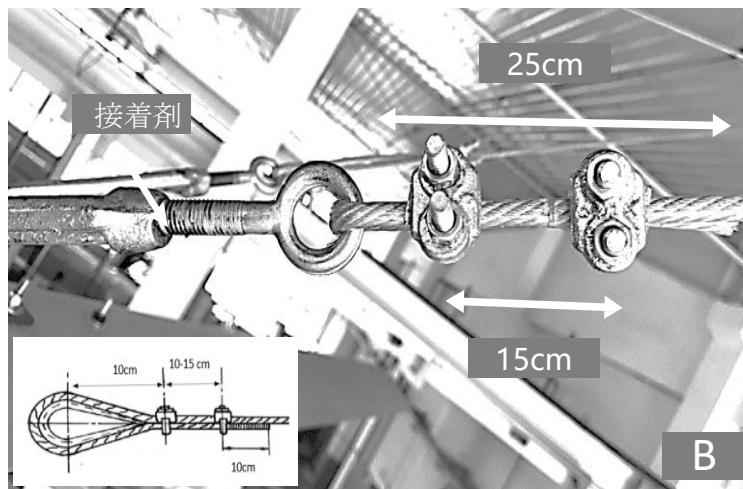


- 5mm のスチールワイヤーロープ 4 本を水平方向に均等に配置し、垂直方向に 35~55 度の角度で本体を固定します。
- 水平尺をファンハブ上に置き、ターンバックルボルトをファンハブが前後水平になるよう調節します。
- ワイヤーロープは緩みがないようにしてください。(ボルトにはゆるみ止めの接着剤が必要です。)



設置手順

1. ベースを取り付ける
2. 延長ポールとモーターを取付ける
3. ワイヤーロープを取付け水平に調整する
4. 電気配線
5. ファンブレードを取付ける
6. 動作を確認する



ワイヤーロープの取付け:

- ワイヤーロープは水平方向に均等に配置します。A
- ワイヤーロープの垂直角度は 35-55° の範囲にします。出来るだけ 45° にしてください。
- 4 本のワイヤーロープは均等にピンと張り、緩まないようにしてください。シーリングファンの揺れがないようにしてください。ファンを推すと位置がずれてしまう場合は、ワイヤーロープを締める必要があります。(注:ワイヤーロープは縁が鋭利な箇所に巻かないでください。) ワイヤーロープをターンバックルボルトに固定するにはねじ用ゆるみ止め接着剤をご使用ください。ワイヤーロープの長さと端の位置は B をご参照ください。

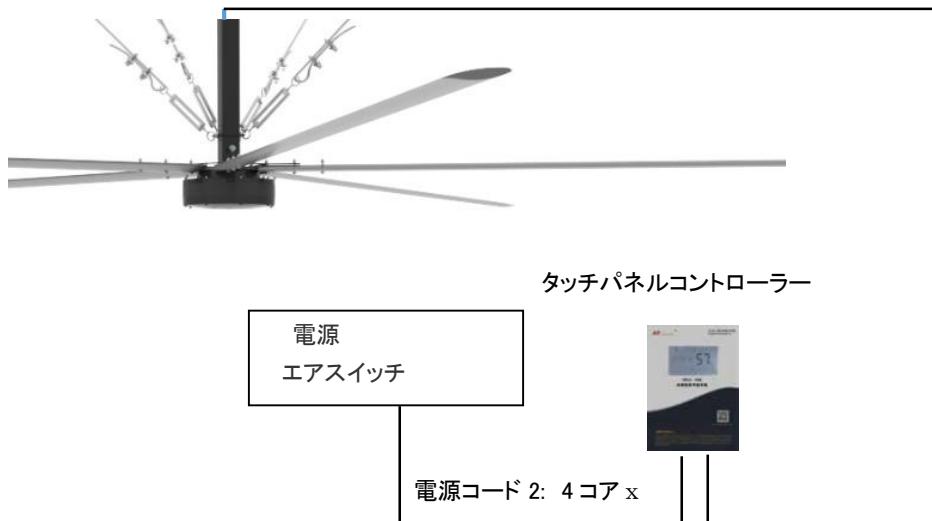
設置手順

1. ベースを取付ける
2. 延長ポールとモーターを取付ける
3. ワイヤーロープを取付け水平に調整する。
- 4. 電気配線**
5. ファンブレードを取付ける
6. 動作を確認する

配線の手順:

- 電源コード 1(4 コア 1.5 mm²)、一方の端をモーターコネクターAに接続し、もう一端をコントロールボックスの「モーター端子」Bに接続します。
- 電源コード 2(4 コア 1.5 mm²)、一方の端をコントロールボックス「電源端子」Bに接続し、もう一方の端は電源のエアスイッチに接続します。
- 電源コード 1、2、とアース線は確実に接続してください。モーターのアース線とコントロールボックスのアース線は C。

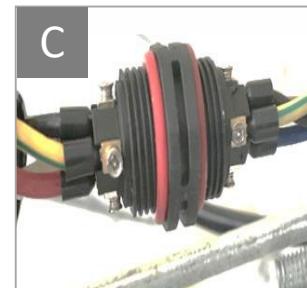
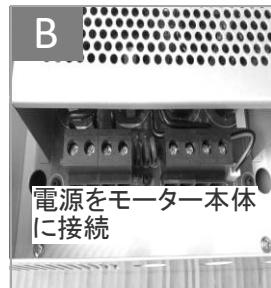
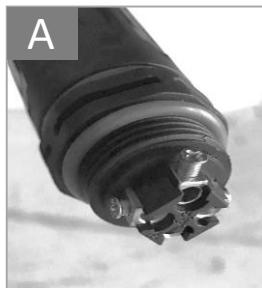
電源コード 1 : 4 コア 1.5 mm²(30 m 未満)



モーター本体の配線

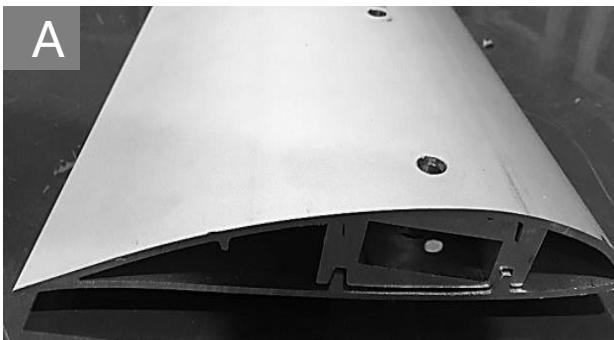
タッチスパネルコントローラー
の配線

モーター本体の配線



設置手順

1. ベースを取付ける
2. 延長ポールとモーターを取付ける
3. ワイヤーロープを取付け水平に調整する
4. 電気配線
5. **ファンブレードを取付ける**
6. 動作を確認する



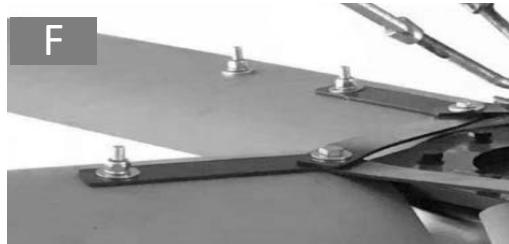
ファンブレード取付準備(先に床面で作業します)

1. ファンブレードにブレードパッドを挿入する
— A
2. 三番目の穴にボルトを取付け、
ナットを締める—B
3. 尾翼を取り付け、ネジを締める—C



ファンブレードの取付け:

1. 取付け準備したファンブレードをハブに挿入します—D
2. 安全チェーンを取付けます—E
3. ボルトを締めます—F



設置手順

1. ベースを取付ける
2. 延長ポールとモーターを取付ける
3. ワイヤーロープを取付け水平に調整する
4. 電気配線
5. ファンブレードを取付ける
6. **動作確認、検収**

動作確認と検収

- 外観検査。ファン、コントローラー及びファンの電源配線が要件通りであることを確認します。
- 安全検査。ファンを起動、低速で運転し、ファン本体、ワイヤーロープ、ファンブレードに干渉や衝突がないことを確認します。
- 異なる速度(低速、中速、高速)で運転を行い、ファンに騒音、振動等の現象がないことを確認します。同時に建物内部での騒音、振動に対するチェックを行います。異常な騒音や振動がある場合、すぐに運転を停止して検査を行います。
- ファンの性能検査。ファンの回転速度が仕様書の最大速度に達しているかを確認します。最高速度に達しない場合は基準に合致していません。
- ファン性能チェック。うちわの風量は
- 上記基準に合致していれば検収を行います。問題がある場合、修正後、再度確認のうえ検収します。

エラーコードと解決方法

コード番号	原因	解決方法
01	過圧	電源をオフにし再度オンにします。問題が解決しない場合は販売店・工事店に連絡してください。
02	電圧不足	電源をオフにし再度オンにします。問題が解決しない場合は販売店・工事店に連絡してください。
03	過電流	電源をオフにし再度オンにします。問題が解決しない場合は販売店・工事店に連絡してください。
04	短絡	電源をオフにし再度オンにします。問題が解決しない場合は販売店・工事店に連絡してください。
05	過熱	電源をオフにし再度オンにします。問題が解決しない場合は販売店・工事店に連絡してください。
11	メーカーコード	販売店にお問い合わせください

パラメーター



ボタン	名前	機能
	速度プリセット	速度プリセット 1
	速度プリセット	速度プリセット 2
	速度プリセット	速度プリセット 3
	調整キー	速度・機能コード番号を累加
	調整キー	速度・機能コード番号を累減
	メニュー機能選択キー	エンターまたは終了
	メニューキー	エンターまたは終了
	運転キー	オンまたはオフ

工場出荷時のメニュー設定

品番	SY-7300	SY-6100	SY-5500
速度プリセット S1	40	40	40
速度プリセット S2	50	55	60
速度プリセット S3	55	65	75
起動速度	55	60	65
速度調整上下キー	1	1	1
速度範囲	10-60	10-70	10-80

品番	SY-4800	SY-3600	SY-3000
速度プリセット S1	40	50	60
速度プリセット S2	60	70	80
速度プリセット S3	85	95	105
起動速度	75	80	90
速度調整上下キー	1	1	1
速度範囲	10-90	10-100	10-110

パラメーターの設定

- ・シーリングファンが停止状態でパネルのメニュー「設定」キーを押し、パラメーターの設定を行います。
- ・メニューの使用：
 - ✓ モーターがオフのときに、「設定」キーを押し、メニュー モードに入ります。
 - ✓ 上下キーで調整が必要な項目を表示し、「確認」キーを押して選択します。
 - ✓ 上下キーを押してパラメータを調整し、「確認」キーを押し選択します。
 - ✓ 前のメニューに戻るか、メニューを終了するには「設定」を押します。
- ・パラメータの説明：
 - ✓ 起動速度 – 起動速度は工場出荷時の設定値です。起動速度を調整するばあい、先にシーリングファンを停止状態にし、ファンブレードが完全に止まったことを確認します。[設定]キーを押すと、タッチスクリーンに選択するボックスが表示されます。「確認」キーを押すと、速度の選択にはいります。このとき、速度インジケーターが点滅します。「上下」キーを押して、希望速度の数値まで調整し、「確認」キーを押すと選択した起動速度が確定します。「設定」キーを押すと最初のスクリーンに戻り起動速度の設定が完了します。
 - ✓ 回転方向 – 工場出荷時の設定は正方向回転です。シーリングファンの回転方向を調整する場合、まずシーリングファンを停止状態にし、ファンブレードが完全に止まったことを確認します。「設定」キーを押すと、タッチスクリーンに選択するボックスが表示されます。「上下」キーを押すと回転方向のマークが表示されます。「確認」キーを押すと回転方向の選択に進みます。このとき選択するデジタル記号が点滅します。「上下」キーを押して希望する回転方向に調整し「確認」キーを押します。デジタル記号は、00-CW、01-CCW で 00 は正方向、01 は反転です。選択後「確認」キーを押し選択した回転方向を確認します。「設定」キーを押すともとのスクリーンに戻り回転方向の設定が完了します。
 - ✓ パスワード – パスワードは工場出荷時に設定してありパラメータを調整する必要はありません。

お手入れとメンテナンス

シーリングファンは長期間にわたる使用にともない、本体やファンブレード部にホコリや油分が溜まりモーターの放熱や、安全な運転、製品の寿命に影響を及ぼすことがあります。そのため定期的な点検および清掃を行うことをおすすめします。

特に長期間使用せずに再び使用する場合や、長期間にわたり使用したあと使用を一時停止する場合は点検を行ってください。異常を感じた場合、速やかに電源を切り、販売店・工事店にご相談ください。

- お手入れやメンテナンスを行う場合、必ず電源をオフにし、電源切断装置をロックしてから行ってください。誤って電源が入らないようにしてください。
- ワイヤーロープは、シーリングファンの横揺れを防ぐため十分な張力を維持する必要があります。ファンを推すと位置がずれてしまう場合、ワイヤーロープをしっかりと締め調整してください。
(注:ワイヤーロープは縁が鋭利な箇所には巻かないでください。)
- 留め具、ボルトに緩みがないか、錆・ひび割れがないか、異常な音がしていないか等について定期的に点検を行ってください。
- ファンブレードに汚れが付いている場合、ファン自体の性能には影響しませんが、クリーニングを行ってください。やわらかい布またはスポンジで拭きとってください。高所での作業のため、安全には十分注意してください。
- シーリングファンのケーブルは、建物の柱、壁の構造物、ファンのブラケットに固定されています。ケーブルの緩みがないよう、定期的に点検を行ってください。
- 運転時の異常な振動や騒音がないか、建物内部、取付け場所、鋼梁、コンクリート梁あるいはその他耐荷重構造部の振動がないか、設置した位置がずれていないか等についても定期的な点検を行ってください。
- シーリングファン周辺の梁、パイプ、送風ダクト、仮設配線など、ファンブレードとの干渉や衝突がないかご確認ください。
- ワイヤーロープの緩み、脱落、電気系統に異常がないかご確認ください。

シーリングファンは、高所での運転であること、また工場等建物内で長期間にわたり使用されるため、日常の点検に加え、毎年の保守点検も行ってください。点検は開始～5年目まで年1回、5年目以降は年1回の定期点検に加え、ご使用がピークを迎える前後での点検をおすすめします。



超大型シーリングファン



総販売元: 株式会社アシスト

〒560-0011 大阪府豊中市上野西4丁目7-16-709

電話: 06-6855-0294 ファックス: 06-6855-0294

E-mail: roky814@alto.ocn.ne.jp



総輸入元: GW 大阪株式会社

〒570-0039 大阪府守口市橋波西之町3丁目1番15号

電話: 06-7506-1632 ファックス: 06-6991-1505

URL: www.gwosaka.com

E-mail: gw001201@yahoo.co.jp